



Subaru

男声合唱団

ニュース774

'22.3.13

「フーチン・ロシアのウクライナ軍事侵略・核兵器威嚇は直ちにやめよ！」 昂はうたで抗議！

3月4・13日



スーホ楽団・リュウイさんと「いのちの歌」で音合わせ

□ 2022年3月4日(金) 18:00～20:30 ねむかホールにて、昂定例レッスンが開催されました。奥村さんの体操・千秋さんの発声練習のあと、本並先生の指揮の下、ウクライナ民謡「**キエフの鳥の歌**」で始まりました。テナーパートとバスパートをそれぞれ歌い、2部で合わせていきました。(別掲楽譜：ウクライナ民謡・木内宏治詩「キエフの鳥の歌」)

2月24日フーチン・ロシアのウクライナへの軍事侵攻に抗議して、「ロシアはウクライナ侵略をただちにやめよ！核兵器による威嚇は許さない！」の意思を、昂は、うたごえで、「キエフの鳥の歌」を歌うことで表明しました。

休憩をはさんで、伊藤副指揮者の指揮で、「**U Boji!**」と「**朝露**」を本番をイメージして、特にアカペラの「U Boji!」は、最初の出だしの音をしっかりと、お腹から「U-」、「ウ ボイ」と何度も出して確認しました。暗譜で、音程・リズム・メロディ・言葉をしっかりと歌い合わせるよう、自信を持って歌えるところまで、がんばりましょう！

再度休憩のあと、「スーホの白い馬モンゴル劇団」のリュウイさんが、13回コンサートの音合わせに訪問されました。

「**いのちの歌**」の合唱とリュウイさんのフルート(横笛)。見事に笛が「いのちの歌」に彩りを添える名曲となりました。

2曲目に、「**歎びのナーダム**」をリュウイさんに聴いてもらい、「**甞了甞了 漂亮漂亮**」の発音、掛け声の音調(原語)のアドバイスを受けました。

本日の参加者は、全参加者：23名、内 団員21名 (T1：8名、T2：4名、BR：6名、BS：3名) ピアノ伴奏は門万沙子さんでした。

「大阪のうたごえ協議会」総会が3月6日に開催され、「ロシアのウクライナ侵略」に抗議する声明を公表しました。

ロシアはウクライナ侵略をただちにやめよ！核兵器による威嚇は許さない

ロシアは2月24日ウクライナに武力侵攻を開始し、子どもや女性、何の罪もない多くの市民が殺傷され、砲火の中で逃げまどい恐怖におびえています。ウクライナ国民の姿に胸が締め付けられ、ロシアプーチン政権に対する怒りを禁じえません。

ロシアの行為は、主権尊重、領土の保全、武力行使の禁止を定めた国連憲章を真っ向から踏みにじり、平和の国際秩序を破る無法な侵略にほかなりません。3月2日に開催された国連緊急特別会合は、ロシアに武力行使の停止、ウクライナから即時無条件撤退を求める非難決議を加盟国の7割を超える141か国の賛成で採択しました。「戦争をやめろ」「ロシアはウクライナからただちに撤退を」「ウクライナに平和を」と求めプーチンを糾弾する声と運動が世界中で広がり、ロシア国内でも反戦デモが勇気を持って行われています。

しかもプーチン大統領は軍に「核特別態勢」を命じ、核兵器の先制使用も辞さない言明を行いました。核兵器による威嚇は核戦争の危険を高め人類を破滅に導く行為であり絶対に許すことはできません。

ところが、このウクライナ危機に乗じて、安倍元首相や松井大阪市長などが日本はアメリカと「核を共有」するべきだと発言し、維新の会は「核共有」の提言まで提出しました。唯一の戦争被爆国日本が核武装をするなど断じて許すことができません。また、「憲法9条で国が守れるのか」などと改憲を求める議論は、日本を再び侵略国家にする非常に危険な道につながります。

わたしたちは、平和を願いいのちが大切にされることをうたごえに託して歌い続けてきました。一日も早くウクライナの平和が回復するように、世界の平和を願う人々と連帯し「戦争やめよ」「ロシア軍はただちに撤退を」の声をあげ、行動していきましょう。核戦争につながる核武装に反対し核兵器禁止条約批准を求める署名、9条改憲をゆるさない署名を集め、平和を守る力を大きくしていきましょう。

2022年3月6日

大阪のうたごえ協議会総会



「ゆらゆら春」ソロ：奥村さん

□ 2022年3月13日(日)14:00~17:00 ねむかホールにて、昴「特別強化レッスン」が開催されました。

奥村さんの体操・千秋さんの発声練習のあと、本並先生の指揮の下、「春のメドレー」を暗譜で歌いました。

続いて、「白樺」を4番まで通して歌いました。ロシアのウクライナ侵略に対する抗議とともに、ロシア民謡「白樺」を歌うか？

(「白樺は反戦の歌!」、第2次世界大戦の侵略者ナチス・ドイツ軍と闘った当時の祖国防衛のロシア軍の若者のたたかいを「白樺」は、眠らずに見届けていた!) (プーチンやめろ! 「白樺」は眠らずに見ているぞ!) と。

続いて、「方正」のうた(「13回コンサート」第3部「いのちを歌う 愛」の千秋さんの創作曲「方正はいくさを物語る」から、森二三さんのピアノ伴奏で、その語りと共に、「方正の青い空」の独唱と昴の合唱が続きました。

休憩・通風、連絡報告があり、伊藤副指揮者の指揮で、「ゆらゆら春」(独唱：奥村さん)を、各所のチェックをして歌っていきました。

引き続き「U Boj!」をフルコーラスで、暗譜で合唱しました。暗譜ができていることを前提に、言葉の発音、強弱、リズムを合わせることで、楽想を合わせる段階に来ました。

(楽譜訂正：6小節2番：「コーブラータク(誤) プラータ」⇒「コーブラータス(正) プラータ」)

引き続き、本並先生の指揮で、「いのちの歌」と「昴」をレッスンしました。

本日の参加者は、全参加者：29名、内 団員27名 (T1：9名、T2：4名、BR：8名、BS：6名) ピアノ伴奏は森二三さんでした。

○連絡・報告事項

(1) レッスン日について

13回コンサートまで40日余り、あと8回のレッスン。「定例レッスン」以外に3月27日(日)、4月10日(日)の「特別強化レッスン」、4月21日(木)の「直前レッスン」が予定されています。定例レッスンだけでは足りない状況です。欠席しないでがんばりましょう!

レッスン不足を感じておられる方を対象に、3月13日(日)10:30~12:00「朝レッスン」を行いました。次回は、4月10日(日)の午前中に2回目の朝レッスンを予定しています。しかし、コロナ対策は十分必要です。体調の悪い時や、熱のある時は無理をしないで!

3月18日(金) 18:00~ 定例レッスン

3月20日(日) 14:00~ 定例レッスン(嶋本先生を迎えて)

3月27日(日) 14:00~ 特別強化レッスン

No.774(3/5)

キエフの鳥の歌

2部合唱

ウクライナ民謡・木内宏治詩

は て な り き そ ら の かな た い と し い と り は と ぶ
よ ぎ り に し ず む も り よ ほ の ぐ ら き た に ま よ

お か に ひ と り た た ず み す ぎ に し 日 を お も う
う た ご え か わ も を ゆ く わ が お も い を の せ て

こ こ ろ に し み る と り の 一 こ 一 え は く ち ょ う よ 一 つ る よ 一
つ る の う た ご え に 一 よ 一 せ て と ど け よ あ い の う た 一

2回 To Coda

や さ し き ひ と は い ま 一 い ず こ お し え て お 一 く 一 れ
や さ し い ひ と は い ま 一 い ず こ お し え て お 一 く 一 れ

Ah — — — — Ah — — — —

Coda

や さ し き ひ と は い ま 一 い ず こ お し え て お 一 く 一 れ あ ! 一 一

混声4部合唱・ピアノ伴奏譜は別途あり

2022. 303. 04

No.774(5/5)